

平成23年度 指導者養成事業

プログラム開発事業 心の冒険教育 指導者養成研修

君の笑顔が、みんなの心の笑顔になる。

平成23年5月に心の冒険指導者養成研修が行われました。この事業は、児童生徒のコミュニケーション能力の向上に資する指導法について研修し、実際の教育現場で集団内のひとり一人の信頼と安心を構築することのできる指導者を育成します。また、妙高アドベンチャープログラムの指導者を育成するための事業でもあります。

コースIは1泊2日で「グループの力を生かす教育手法コース」です。「妙高アドベンチャープログラム」を用いた人間関係づくりの手法を習得します。

コースIIは、2泊3日で「妙高アドベンチャープログラム」のプログラム指導のために必要な知識や指導技術の習得を図ります。

今年も21名の参加者の皆さんが、真剣



5月27日(金)～29日(日)に実施

な表情で実技や理論について学んでいました。講師は、プロジェクトアドベンチャージャパンから2名の先生をお迎えして、専門的な内容をわかりやすく楽しく教えていただきました。

妙高アドベンチャープログラムは当施設でもとても人気の高い仲間づくりプログラムです。ここで学ばれた参加者の皆さんには、この研修を生かしてご活躍いただけることを心から期待しています。

MYOKOボランティア養成所

(兼・文部科学省自然体験活動指導者養成事業 補助指導者養成研修)

5月21日(土)～22日(日)に実施

この施設を支える大きな力。それは、ボランティアのみなさんの力です。

今年で5回目を迎えたこの事業は、ボランティア活動の意義や青少年教育について学んだり、応急手当の方法やリスクマネジメントについての実践をしたりと、内容の濃い1泊2日となりました。

今回は、46名(大学生44名、社会人1名、教員1名)にご参加いただき、そのうち、28名が法人ボランティアとして新規登録、12名が実際にボランティアとして活躍しました。

この「ボランティア養成所」に参加し、申請すると、「法人ボランティア」として登録することができます。「法人ボランティア」は、全国にある28か所の国立青少年教育施設で行われている各事業で



運営や指導など、多様なボランティア活動を行うことができます。

「今は、大学から近い妙高でボランティアしたいけど、夏休みは実家の近くの立山でボランティアしてみたいなあ。」という場合でも、「法人ボランティア」として登録すれば、どこの国立施設でも活動することができます。

実際に、学生ボランティアの中には、妙高だけでなく立山や能登、信州高遠などさまざまな国立施設で活躍している人もいます。

法人ボランティアへの登録は、15歳以上(中学生を除く)で青少年教育に関心のある方ならどなたでもできます。ぜひ、元気いっぱい感動いっぱい妙高で新しい一歩を踏み出してみませんか。

妙高ネイチャープログラム 指導者養成研修会

7月1日(金)～3日(日)に実施

この事業は、環境教育等の講義・演習や妙高ネイチャープログラムの体験を通して、環境教育の指導者として必要な資質や指導力の習得を目指しています。

講義の「学校現場における環境教育のあり方」では、上越教育大学特任准教授・渡辺啓子先生から学校現場の現状を具体的な実践例を交えてわかりやすく説明していただきました。実習では、自然体験の人気プログラムの源流探検、藤巻山探検(森のダム)を中心に実施しました。「川と生き物とのつながり」「森のダム」「川と森のかかわり」などを題材に参加者と意見交換しながら取り組みました。その他に、周辺環境の理解という視点から、妙高火山、野鳥観察、星空観察の実習も加えました。最後に研修のまとめとして、



「プログラム立案」の演習を行いました。実際に実施した学校の状況調査票を用いて、源流探検のプログラムを立案しました。それぞれの立場から、様々な視点でプログラム内容の検討が行われました。また、活動中はスキルアップで参加した指導員から、子どもたちへの対応や説明内容など具体的な助言があり、より質が高いものとなりました。

研修後の受講者からは、「自然にふれて何かを感じ、気づきを広げることが人として大切なことだと思いました。」「ネイチャープログラムを体験してみようと思ってきましたが、体験だけではないことを考えさせられました。多くの学びがありました。」「という感想が寄せられました。この研修を通して学んでいたことが、「自然体験の楽しさ」として、子どもたちに伝わればと願うばかりです。



自然体験活動指導者養成事業 「小学校長期自然体験活動指導者養成研修」

9月17日(土)～19日(月)に実施

この事業は、「小学校の1週間程度の自然体験活動」において教育効果の高い自然体験・生活体験活動の機会を提供するために、プログラム計画立案の助言、活動時の全体指導や活動の様子把握と助言、事業評価の助言などを行う指導者を養成することを目的として実施されました。参加者は青少年教育関係者、学校教育関係者、その他自然体験活動に興味・関心があり、かつ小学校の長期自然体験活動の全体指導者として活動・協力する意志のある18歳以上の方です。今回は23名の方にご参加いただきました。

妙高では、自然体験活動をプログラムする上で大切な企画力を大切に、プログラム企画立案の時間を多く設定しています。また、自然体験の技術や指導法も毎年同じではなく新たなプログラムを取り入れています。

